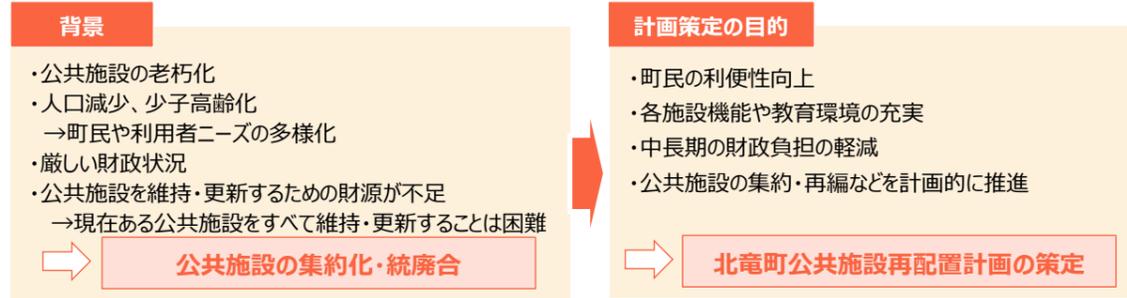


第1章 計画の概要

■ 計画の背景と目的

本町では、町民の利便性向上や、各施設機能・教育環境の充実、そして、中長期の財政負担の軽減を図るとともに、学校施設整備をはじめとした町中心部における公共施設の集約・再編などを計画的に推進するため、その方針や構想について定める北竜町公共施設再配置計画を策定します。



■ 目指すべき施設のあり方や方針

町民ニーズの量や質の変化を適切に捉え、総合的で効率的・効果的な施設運営が求められていることから、「量」と「質」及び「コスト」の視点から公共施設を見直します。

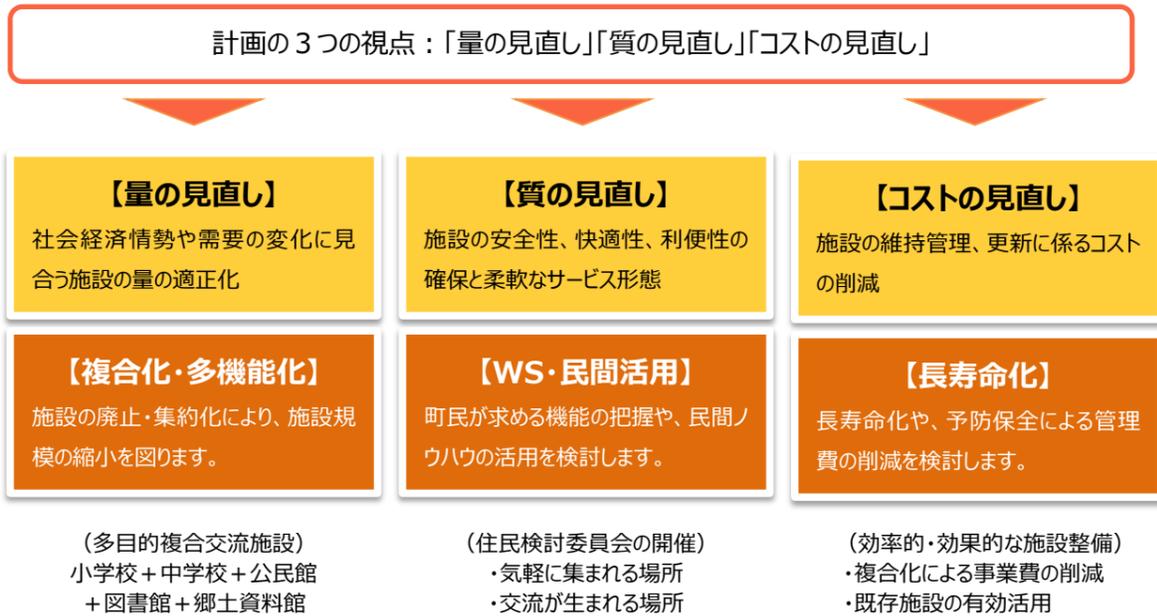


図 目指すべき施設のあり方や方針

第2章 対象施設の現状

■ 各施設の概要

本計画で対象とする施設は、真竜小学校や北竜中学校などの学校施設をはじめ、町中心部に位置する合同庁舎等の行政系施設や公民館、図書館、郷土資料館の文化施設といった 25 の施設を対象とします。

表 対象施設一覧

番号	中分類	建物名	経過年数	老朽度	構造	延床面積 (㎡)	耐震化要否
1	学校	真竜小学校 (校舎)	50	106%	RC	2,647	実施済
2		真竜小学校 (体育館)	50	106%	SRC	751	実施済
3		北竜中学校 (校舎)	45	96%	RC	2,606	実施済
4		北竜中学校 (体育館)	45	96%	SRC	880	実施済
5		北竜中学校屋外物置・部室	19	127%	W	109	不要
6	文化施設	公民館	49	98%	RC	1,393	未実施
7	図書館	図書館	34	68%	RC	282	不要
8	博物館等	郷土資料館	34	68%	RC	250	不要
9	庁舎等	合同庁舎	59	118%	RC	1,434	未実施
10	庁舎等	町長車庫 (1棟2台)	21	84%	LGS	52	不要
11		公用車庫 1 (1棟5台)	3	12%	LGS	81	不要
12		公用車庫 2 (1棟5台)	24	96%	LGS	81	不要
13		公用車庫 3 (1棟3台)	21	84%	LGS	49	不要
14	消防施設	深川消防署北竜支署	42	84%	RC	474	実施済
15	その他行政系施設	山車格納庫	29	116%	LGS	36	不要
16	保健施設	すこやかセンター	21	45%	RC	1,954	不要
17	ｽﾍﾟｰｽ施設	農村環境改善センター	44	88%	RC	1,845	実施済
18	その他行政系施設	車輛センター	44	142%	S	355	不明
19		車輛センター詰所	44	183%	Wモルタル	42	不明
20		スクールバス車庫	38	123%	S	111	不要
21		デイサービスバス車庫	30	97%	S	45	不要
22		水防倉庫	41	273%	Wモルタル	118	不明
23	集会施設	ひまわり青年会館	51	232%	W	265	不明
24	高齢福祉施設	老人憩の家	47	214%	W	344	不明
25	公営住宅	和本町団地公営住宅 (1~4号)	34	49%	RC	281	不要

※青字：老朽化率 100%以上の施設

第3章 整備方針・想定規模

■ 各施設の整備方針

【主要施設の方針】

- (1) 真竜小学校・北竜中学校 → **小学校と中学校を施設一体型で新たに建て替え**
- (2) 公民館 → **建て替えし複合化**
- (3) 図書館・郷土資料館 → **建て替えし複合化**
- (4) 合同庁舎 → **すこやかセンターと一体化し、増築**
- すこやかセンター → **合同庁舎と一体化し増築・大規模改修**
- (5) 農村環境改善センター → **維持しながら他の施設との複合化**

表 その他の対象施設の建替・維持・廃止の方針

建物名	方針	建物名	方針
町長車庫 (1棟2台)	建替	車輛センター	まとめて建替
公用車庫1 (1棟5台)	維持	車輛センター詰所	
公用車庫2 (1棟5台)	建替	スクールバス車庫	維持
公用車庫3 (1棟3台)	建替	デイサービスバス車庫	
深川消防署北竜支署	維持	水防倉庫	廃止
山車格納庫	維持	ひまわり青年会館	廃止
		老人憩の家	廃止
		和本町団地公営住宅 (1~4号)	廃止

■ 想定規模

- ・小中学校 施設一体型で建て替え → 特別教室の共用等で面積削減
新小中学校 : 約 4,100 m² (真竜小学校: 約 1,900 m² 北竜中学校: 約 2,200 m²)
- ・役場庁舎 国土交通省「新営一般庁舎面積算定基準」などをもとに想定
役場庁舎 : 約 2,500 m²
- ・公民館・図書館・郷土資料館 機能集約・複合化 → 大ホール機能は「老人福祉センター」の体育館で確保
公民館・図書館・郷土資料館 : 約 1,450 m²

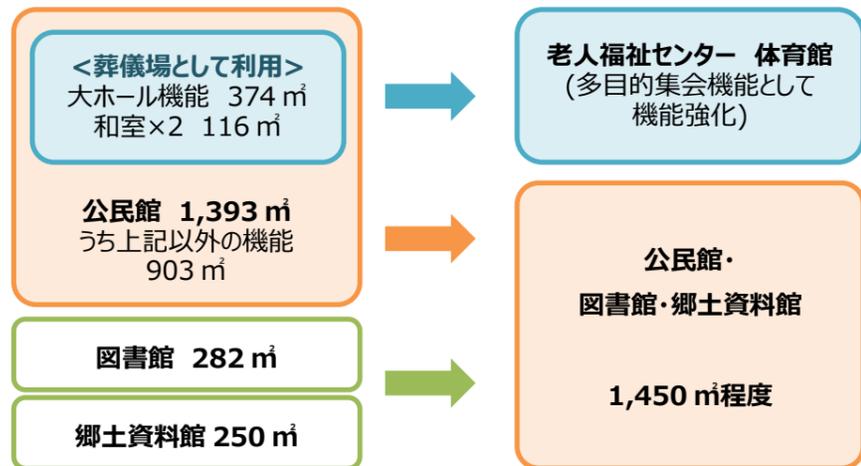


図 公民館・図書館・郷土資料館の機能の再編

第4章 再配置計画

■ 機能配置の考え方

・小中学校の建設地

表 小中学校の建設地の比較

	真竜小学校周辺エリア	北竜中学校周辺エリア	
総合評価	児童が農業改善センター内の学童保育を利用しやすく、公民館等の教育施設との複合化により、町民が利用しやすい居場所を新たにすることで、まちのにぎわいに貢献できる。	プールや野球場、ひまわりの里が近いが公民館等の教育施設との連携を図ることができない。	△

航空写真 ©NTT インフラネット、©JAXA

・エリア全体の再配置プラン

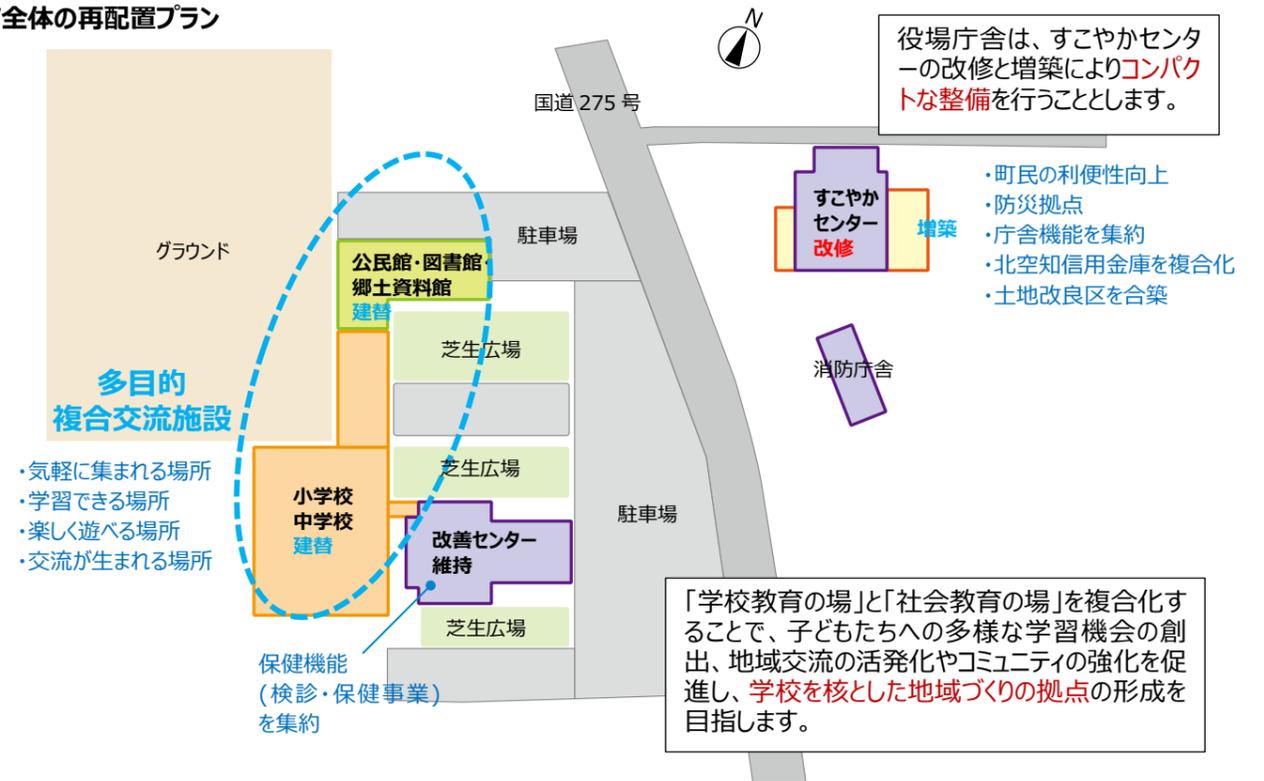


図 エリア全体の再配置プラン

■ 整備計画

・小中学校+公民館・図書館・郷土資料館

- ・町民の利便性向上と、子どもの学習環境・安全性を確保した動線計画、配置計画とする
- ・機能の集約化・相互利用により、施設規模・事業費を縮小する

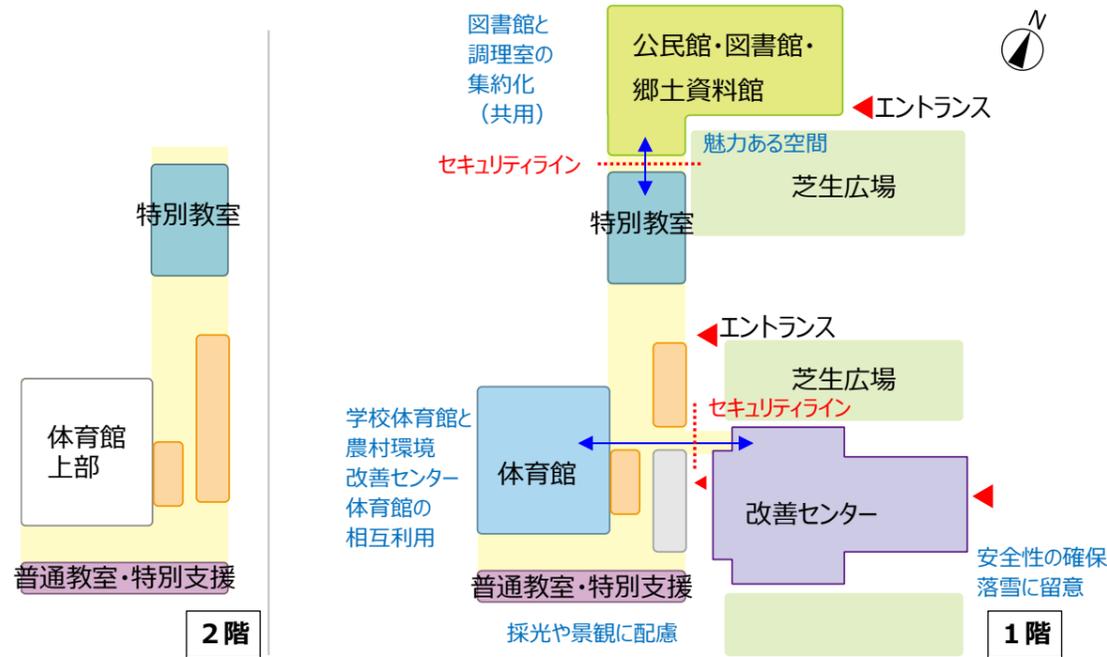


図 ゾーニングプラン

複合化により計画面積を約 1,400 m² (建設費を約 8.2 億円) 削減します

表 小中学校+公民館・図書館・郷土資料館の計画面積と建設費の変化

No.	建物名・室名	①			計画面積	④	
		現状面積	現地調査ヒアリング	小中学校施設一体型		複合化	複合化した計画面積
1	真竜小学校 (校舎)	2,647		-750	1,900	-200	1,700
2	真竜小学校 (体育館)	751			750	-750	0
3	北竜中学校 (校舎)	2,606	-100	-300	2,200		2,200
4	北竜中学校 (体育館)	880			900		900
5	公民館	1,393	-30		1,350	-450	900
6	図書館	282			300		300
7	郷土資料館	250			250		250
8	農村環境改善センター	1,845			1,845		1,845
	合計	10,653	-130	-1,050	9,495	-1,400	8,095

単位：億円

建設費合計額	46.7	40.9	32.7
--------	------	------	------

・役場庁舎

- ・住民の利便性向上、職員の業務効率化・利便性向上に配慮
- ・執務機能を1階にワンフロアで配置を検討
- ・すこやかセンター2階の各諸室を最大限有効活用することで増築面積を縮小



図 役場庁舎周辺の配置プラン

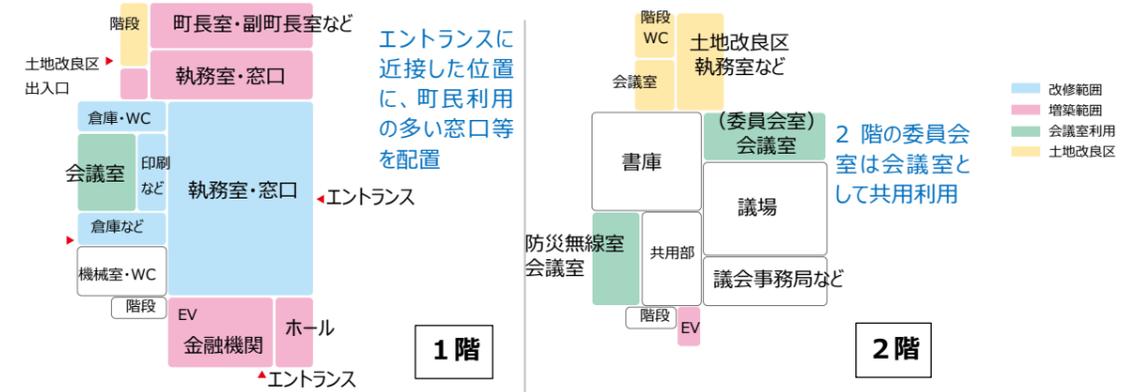


図 役場庁舎平面プラン

すこやかセンターの有効活用により計画面積を約 600 m² (建設費を約 10.9 億円) 削減します

表 役場庁舎の計画面積と建設費の変化

No.	建物名・室名	①			計画面積
		現状面積	現地調査ヒアリング	庁舎規模算定	
1	合同庁舎	1,434	-20	-544	2,500
	土地改良区	-			210
	農地・水保安全管理	-			50
2	すこやかセンター	1,889			-
	合計	3,324	-20	-544	2,760

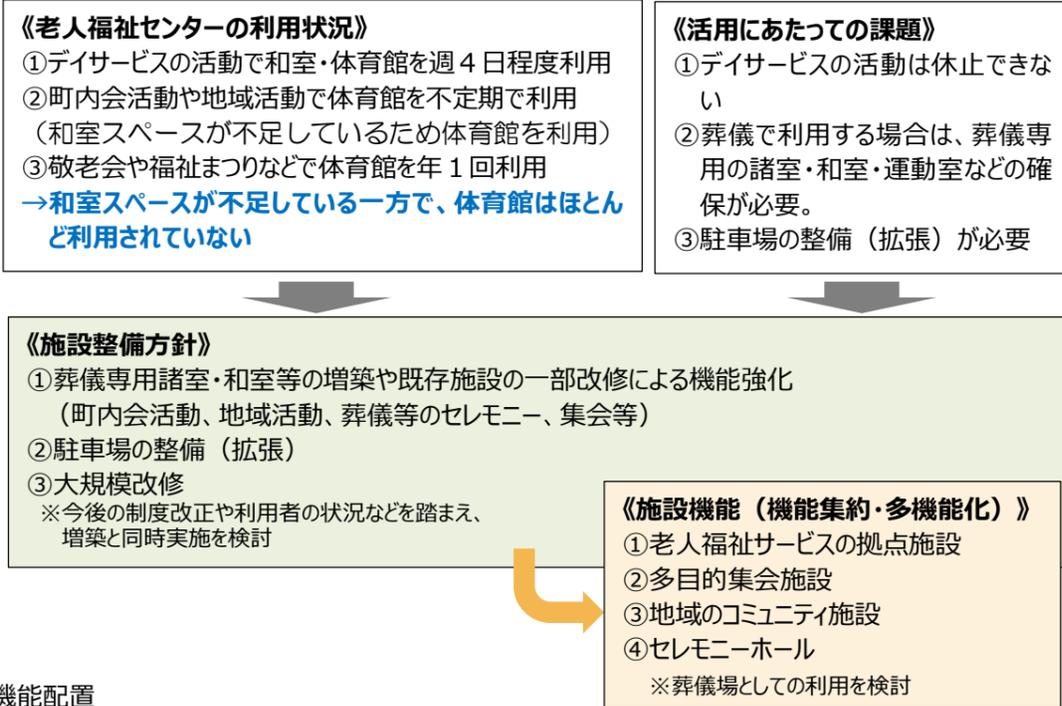
単位：億円

建設費 合同庁舎を現状面積で新築の場合	18.8
建設費 改修+増築の場合	7.9

【参考】北竜町老人福祉センターの再編計画

(1) 施設整備方針

北竜町老人福祉センターは、本計画の対象施設ではありませんが、公民館の大ホール機能の集約化・多機能化を図ります。



(2) 機能配置

体育館と接続する位置に、約 170 m²の各種控室等の増築を想定します。

※公民館との諸室面積の比較

老人福祉センター体育館	405 m ²
⇔ 公民館大ホール	380 m ²
老人福祉センター和室（増築）	72 m ²
⇔ 公民館和室	84 m ²



図 老人福祉センターの整備案

第5章 事業計画

■ 事業スケジュール

	R4年度 2022年度	R5年度 2023年度	R6年度 2024年度	R7年度 2025年度	R8年度 2026年度	R9年度 2027年度	R10年度 2028年度	R11年度 2029年度	R12年度 2030年度	R13年度 2031年度	R14年度 2032年度	R15年度 2033年度	R16年度 2034年度	R17年度 2035年度
改善センターエリア	新・学校校舎		基本計画			建設		移転	供用					
	真竜小学校							解体						
	新・公民館・図書館			基本設計	実施設計				建設	供用				
	公民館・図書館・郷土資料館									移転	解体			
庁舎エリア	広場・外構									整備	供用			
	老人福祉センター		基本・実施設計	改修・増築		供用	大規模改修							
	すこやかセンター								基本設計	移転	実施設計	改修増築	増築	供用外構
	合同庁舎											解体		
	車輛センター等		実施設計	建設										

■ 概算事業費

表 概算事業費

		事業費 (億円)		
改善センターエリア	設計・監理 (新築+解体)	設計 1.4 工事監理 0.4		
	建設費	小中学校 校舎 19.9 小中学校 体育館 6.0		
		公民館・図書館 7.3		
	外構等整備費	グラウンド 1.7 駐車場・通路・広場・外構その他 2.1		
		解体費	真竜小学校 1.6 北竜小学校 1.6 公民館・図書館・郷土資料館 0.9	
	小計		42.9	
	すこやかセンターエリア	設計・監理 (新築+解体)	設計 0.3 工事監理 0.1	
建設費		すこやかセンター増築(東面)・改修 6.3 すこやかセンター増築(西面) 1.6 防災備蓄倉庫 0.9 公用車庫庫1・2、町長車庫 0.2 車輛センター・詰所 2.8 スクールバス車庫 0.5		
		外構等整備費	駐車場その他 0.1	
		解体費	合同庁舎 0.7 旧公用車庫庫1・2、旧車輛センター 0.3	
			小計	
		合計		56.6

※各種調査費、移転費、備品購入費等は含まれていません。
 ※今後の社会情勢により建設資材の高騰や人件費の上昇などにより変動する可能性があります。

■ 財源

事業の実施にあたっては、国・道の各種補助金・交付金制度等を有効活用するとともに、将来負担に十分配慮した上で過疎債等の地方債制度を活用し、財源を確保することとします。